

カイゼン

》》》すぐに効果の出るカイゼン事例紹介編！！《《《

現場「カイゼン」研究会 中国支店 門脇 圭です。

さてさて、今週の当研究会からのお話ですが・・・。

すぐに効果、結果(大幅コストダウン)の出るカイゼン事例をここでご紹介しますね。

といっても、大規模なリストラなど血を流す事ではなく、少し(かなり?)地味ですが確実に出来ることを当研究会ではご案内しますね。

それは何かといえますと、

1番目は、梱包箱のカイゼンです。

皆さんの現場で数多くの梱包箱使われていますよね?その箱って印刷がされていませんか?たとえば、会社のLOGOだったり製品名、数量や品番などなど・・・。

梱包箱に印刷ってやめること出来ませんか?やめることが出来れば、まず箱代にかかる印刷コストが下がりますよね?梱包箱における印刷コストって結構おおいんですよ。複数の色など使っている場合、箱を印刷する機械の中に相当の染料の粉が残ってしまうそうです。この染料粉ですが、年間にすると数十トンになり、すべて廃棄しなければならないそうです。もちろんそれらの費用はすべてに販売価格に乗っていて皆さんで払われている・・・。

そういった印刷の代わりに、出荷ラベルに切り替えた結果、廃棄する染料の粉に比べたら、数十分の一のコストに抑えられ、金額にすると年間数千万円の抑制になりました。これは大手の食品メーカーさんの例です。

2番目の事例。

製品を生産して、お金を生まないモノ、消耗品ってありますよね?たとえば、先ほどの出荷ラベルや製品ラベル。アパレル業界だと、値札や下げ札、荷札などなど。無いと困るが、製品金額になかなかオンできないシロモノです。

よね。しかも、各製品に必ずつけなければならず、ランニングコストがかかってしまう・・・。

そういったもののカイゼンのお話です。

こういった、ラベルやタグは通常熱転写という方式を使って印刷されています。この場合、かならずインクリボンを使わないと印刷できないんですね。大多数のお客様で既に使われていると思いますが、なかなかカイゼンのメスが入っていないところでもあります。

で、そのインクリボンを使わない方式で印刷できる方法があるんですよ。それは感熱紙を使う方法です。感熱紙は、FAXやホワイトボードなんかでよく使われていますよね。ただ、難点があって、爪や指でこすると黒くなったり、長期間保存が出来ないといったことがありました。昨今の技術革新で耐久性が格段に向上し、出荷ラベル、値札、下げ札、荷札にもすでに使われ始めています。日本国内の衣料品チェーン店では数年前から既にこの感熱紙(下げ札、値札)を使い、大きなコストダウンに繋がっています。

また、中国の日系製造業では、製品出荷ラベルをすべて感熱紙に切り替えて、インクリボン代を大幅削減に成功。また、このインクリボンの廃棄物もゼロになり環境にも配慮でき、産廃費用の削減にもなりました。

さて、最後のすぐに効果の出るカイゼン事例ですが、これも細かい話でスイマセン・・・。

先ほど説明した、出荷ラベル、製品ラベル等の大きさを再度検討してみませんか?製品出荷時に貼り付ける出荷ラベル、製品ラベル、銘板ラベルなどに余白が結構ありませんか?たくさんのバーコードが何行もついていませんか?何行にも書かれたバーコードには各々、製品コードや数量、出荷日がそれぞれ書かれています。それをひとつのバーコードに統合するか、もしくは2次元コードを活用し省スペース化し、そういったラベル自体の大きさを変えれば、大幅なコストダウンに繋がりますよね?

確かに、出荷ラベルの変更は簡単な作業ではありません。設備の更新もしなければならぬかもしれません。それでも、コストダウンの出来る設備投資であれば、回収もごく短期間でできますし、それよりも出血を伴う作業のほうが多いのではないのでしょうか?

今回説明した内容に関して、「詳しい話が聞きたい」「もう少し具体的に教えてほしい」「現場を見た上で提案してほしい」といった、ほんの少しの工夫、ほんの少しの投資を積極的に考えている方、ご連絡いただければ、研究会から「カイゼンスペシャリスト」を無料でコストダウンコンサルをさせていただきます。当研究会に問い合わせが昨今大変多くなっております。お早めにご連絡お待ちしております。

現場カイゼン、ご相談にのりますよ!!!

Advanced Auto Identification Solutions Co., Ltd.

帝訊信息技术有限公司 総経理 門脇 圭 問い合わせ先:

深圳市福田区振中路与中航路交匯處

新亞洲國利大廈1708-1709

Tel 400-670-4649 メール kadowaki@a-solsh.com (担当:門脇)

URL <http://www.a-solsh.com>